

小樽市観光基本計画策定委員会 第五回委員会議事録

日時 平成 28 年 9 月 21 日 (木) 14:00～15:30

場所 小樽市民会館 第一号集会室

次第

(1) 開 会 李委員長より開会の挨拶があった。

(2) 小樽観光の方向性と主要施策について

● 前回会議で議論された、小樽の観光に関する主要施策案が提示された。

○ 「主要施策について」(配布資料 1)

(3) 小樽観光重点地域について

● 第一次計画で示されていた「小樽観光の重点地域」について事務局から説明があり、このテーマについて第二次計画ではどのように扱うべきかを議論することとなった。

○ 「小樽観光の重点地域について／議論ポイント」(配布資料 2)

● 重点地域に関連して、(2)で示された主要施策案について、委員から意見を求めた。

○ 地域の戦略を考える上では、それぞれの地域にプラスアルファの価値が必要で、そこから住民とのコミュニケーションがはじまり、観光客の行動を広げる仕掛けが生まれると思う。

○ 施策には優先順位づけが必要。施策時期(短期、中期、長期)の見極めや、経済効果を念頭にしたコンテンツの整理を行うことが大切だと考える。

○ 施策をどのように具体化させて、それがどの地域にどのように結びつくのかを考えることが重要だ。

○ 誰に来てもらいたいのか、大きなビジョンから考えることも大切であり、市としてどのように考えているかを聞いてみたい。

○ 具体案への話も重要だが、市民がどのようなイメージでこれからの小樽のことを考えていきたいか、将来の観光にむけたキーワードなどを聞いてみるのはどうか。

○ DMO を視野に入れた施策には、マーケティングの専門家の存在が要件になるので、それを念頭に取り組んでほしい。

● 続いて、重点地域についてどう考えていくか意見を伺った。

○ 第一次計画後、別の視点から地区別に細分化された資料(2015 小樽観光戦略構想)があり、それをもとに考えをまとめてはどうか。

- 地区全部を面と捉えているので重点というイメージが理解しづらい。
- 第一次と第二次では、構成が違うので議論がかみ合わないのではないか。
- 運河が軸である小樽の観光に、スイーツや食などの新しいコンテンツを融合させて広げることを考慮して考えを深めてはどうか。
- 港湾観光都市という位置づけをもっと訴求する展開が大切ではないか。
- 軸になる地区を絞り込んで磨き上げることだと思う。

●事務局は、重点地域について第二次計画においてどのように捉えるべきか検討することになった。また、第二次基本計画にむけた小樽市としての考え方や、主要施策案の具体的展開案（具体案やスケジュール、位置づけ等）をあらためて提示することになった。

(4) ワークショップの開催概要について

- 事務局より、10月1日に開催されるワークショップについて説明があった。
 - 「ワークショップ～小樽の観光について考えよう！」(配布資料3)

(5) 閉会

李委員長より次回の日程を確認し、閉会した。

< 次回委員会 10月26日(水) 14:00～／小樽市公会堂1号室 >